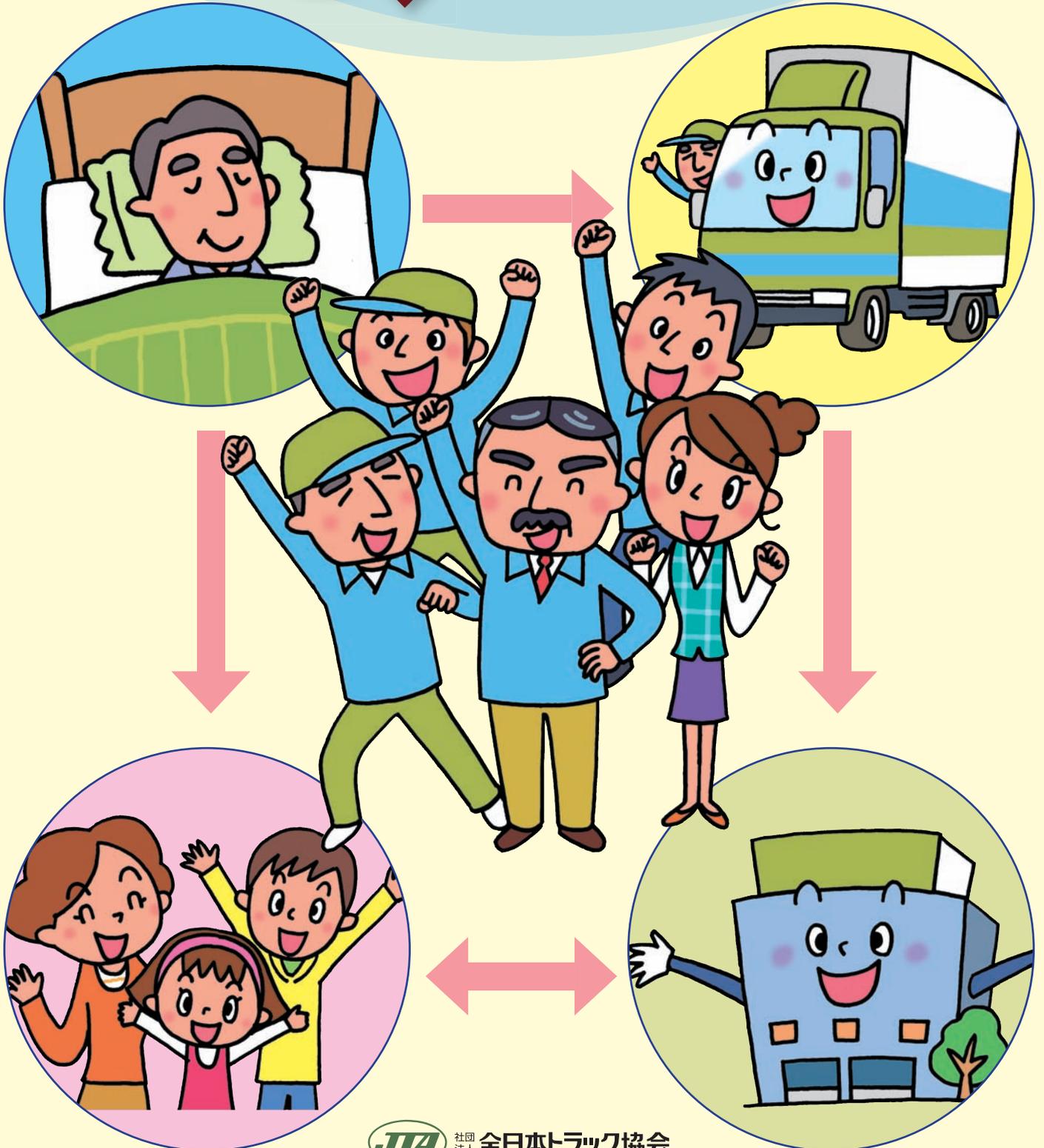


SAS検査助成制度活用

Q & A



SASの検査実施で事故撲滅へ。 助成制度でしっかり応援します。

「睡眠時無呼吸症候群」= SAS (Sleep Apnea Syndrome)は、いまやトラック運送業界だけの問題ではなく、大きな社会問題のひとつとなっています。SASが注目されるきっかけとなったのが、2003年に岡山駅で発生した新幹線事故。この事故の原因がSASにあることがわかり、国土交通省から通達が出されました。

全日本トラック協会では、会員事業者へSASの理解を広めるために、専門医に監修いただきパンフレットやビデオを制作。さらに、一部の事業者のご協力で、約2,000人の方にSASスクリーニング検査を実施し、調査を開始しました。その結果、約6.6%が、精密検査が必要という結果が現れました。全日本トラック協会では、この事態を深刻に受け止め、SASの全国的な対策を推進するため、2005年に助成制度を設けました。

このパンフレットは、助成制度を上手にご活用いただき、またドライバーの不安を取り除くための「Q&A」です。業界一体となって一刻も早く全国でSASスクリーニング検査の受診が浸透し、労災・交通事故対策が進められるように応援してまいります。

Check

■SASに関する国土交通省通達(国自総第83号 平成19年6月1日)

国土交通省から、全日本トラック協会などに対し2003年度(平成15年)3月に引き続き、以下の事項について周知徹底を図るように通達が発出されました。

1. マニュアル「『睡眠時無呼吸症候群』に注意しましょう!」※を活用し、SASの早期発見・早期治療の重要性について、運転者、運行管理者及び人事・労務担当者等全ての関係者に周知すること。
2. 近年の研究で、SASであっても日中に強い眠気を感じない人がいることがわかっており、SASの早期発見のため、日中に強い眠気を感じない運転者も簡易なスクリーニング検査を受診するよう努めること。
3. スクリーニング検査でSASの確定診断のための精密検査が必要と判断された場合には、精密検査を受けるとともに、SASと診断された場合には、適切な治療を受けるよう当該運転者を指導すること。
4. SASであっても、早期に発見し適切な治療をすればSASでない者と全く同様な乗務が可能であることを理解し、SASと判明したからといって乗務からはずすなどの差別的な扱いをしないこと。不利な扱いを避けるためにSASであることを隠し、治療を受けないで運転業務を続けることが最も危険な状態であることを理解すること。
5. なお、SAS以外にも、居眠り運転や眠気に起因した漫然運転と関連した様々な病気があることが知られており、原因不明の過度な眠気がある場合には、これらの早期発見・早期治療の観点からも、専門医療機関への受診が重要であることを理解すること。

※詳しくは国土交通省のホームページをご覧ください
<http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/09/090601/01pdf>

STEP.1

SASを
理解しましょう

p4

- ◎ SASを放っておくと危険？
- ◎ なぜ睡眠中に呼吸が止まるの？
- ◎ SASってなに？

専門家の
意見は？

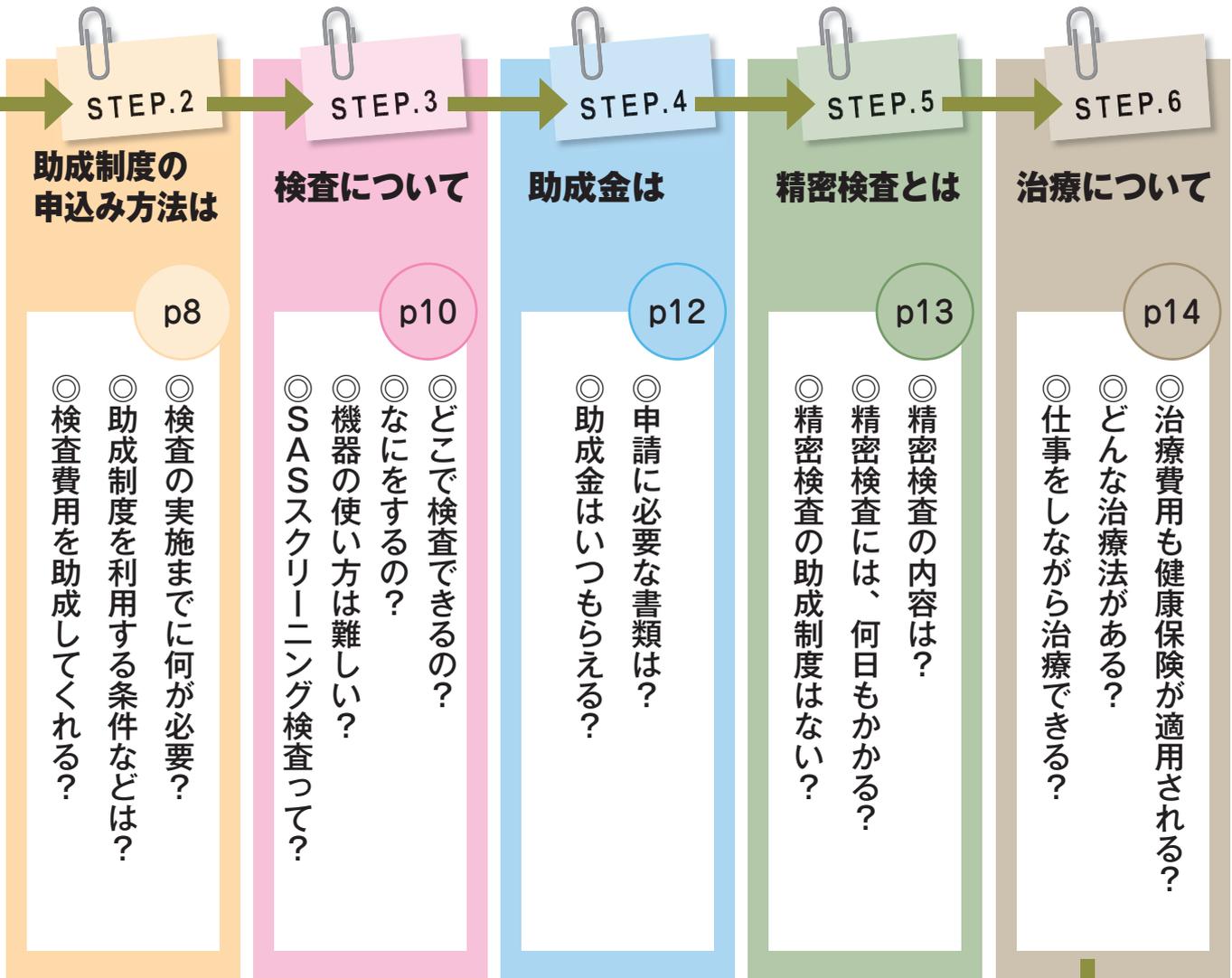
p6

SASの医学的監修

谷川 武

愛媛大学大学院医学系研究科
公衆衛生・健康医学分野教授

SASスクリーニング検査助成制度を 活用するために…



もっと詳しく知りたい！

SASのこと、検査助成制度のこと

SASと交通事故発生の関係/SASへの自覚と検査結果の違い/
SASに対する他の助成制度/トラック協会主催のSASセミナーについてなど

p18

必要な書類の書き方など

p20

助成制度を利用した方の感想は？

p16

自覚症状が少なく、ご自分がSASだとわかっていない方も。

Q.1

SAS ってなに？

A.1

睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態が断続的に現れる危険な病気です。

Q.2

なぜ睡眠中に呼吸が止まるの？

A.2

眠っている間にのどの周りの筋肉が緩み、舌の根元などが気道を塞ぐために起きると言われています。



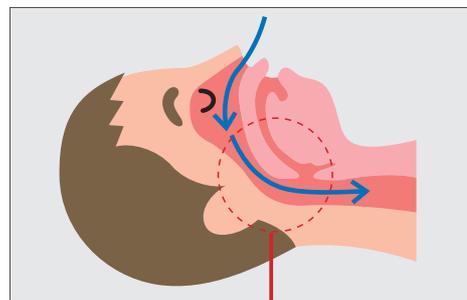
事業者や運行管理者の方は、トラックドライバーの事故防止に、勤務スケジュールに無理がないか、きちんと睡眠時間を確保できているかなどの配慮を施されていると思います。しかしながら、それだけでは防ぎ切れないのが、SASです。医学的にSASは、「呼吸が10秒以上停止する無呼吸の状態が一晚(7時間)の睡眠中に30回以上生じるか、睡眠1時間当たり無呼吸が5回以上生じ、かつ自覚症状を伴うもの」とされています。つまり「眠っている最中に何度も呼吸が止まってしまう」という病気です。そのため眠りが浅く、また脳への酸素供給も悪くなるため、脳も体も満足な休息が取れず、日中に強い眠気を感じて居眠りをしたり、集中力が欠けてしまうなどの状況に陥りやすくなります。意外と本人の自覚がない場合も多いため、きちんとした検査を実施し、早期発見・早期治療に取り組むことが求められています。



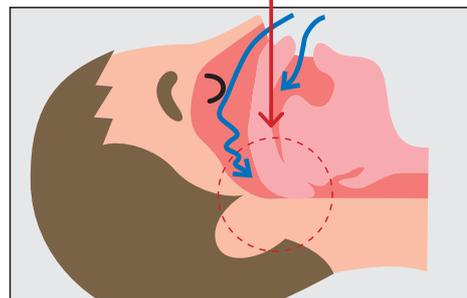
SASは、「閉塞型」「中枢型」「混合型」の3つに分類されていますが、大半の方が「閉塞型」です。これは睡眠中に上気道が塞がって呼吸ができなくなってしまうことが原因とされています。下の解説イラストをご覧ください。通常は、気道が確保され、睡眠中も呼吸はスムーズに行われています。しかし、SASの場合は、睡眠中に舌がのどの奥に沈下することにより、気道が塞がれてしまいます。このため、睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態を引き起こしやすくなるのです。太っている方は、気道が狭くなっているため、この状態になりやすい傾向にあります。しかしながら、やせている方でもこのような方がいますので要注意です。ちなみに中枢型は、脳の中核部分の働きに異常が起きることが原因となるタイプ。混合型は、両方が原因となるタイプです。

SASと正常な場合の違い

正常な場合は
上気道が確保されている



SASの場合は
睡眠時に上気道が閉塞している



社内SAS対策プロジェクト物語
「SAS、もう放っておけない!」の巻

Q.3

SASを放っておくと、危険なの?

A.3

事故発生の要因となることはもちろん、合併症を引き起こすなど健康管理面のリスクも高くなります。



眠くて辛くなったら仮眠すれば良いのだ、などと甘く考えていると危険です。SASは、睡眠そのものの質に問題があるため、ちょっと睡眠を取れば眠気を解消できる訳ではありません。事故を起こしてから後悔したのでは、遅すぎます。また、SASがさまざまな合併症を引き起こすリスクが高いこともぜひ認識してください。睡眠中の呼吸停止と再開が繰り返されることで、血圧が上昇し、血液が固まりやすくなることから、「高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳卒中など」重大な合併症を引き起こす危険も伴っています。安全運転とドライバーの健康管理の両面から、SASの早期発見・早期治療に取り組んでほしいと思います。

★事故を起こした後で悔やんでも…

2005年、滋賀県彦根市の名神高速道路で大型トラックが8人を死傷させる事故が発生しました。事故後、弁護士が鑑定を求め、ドライバーの健康状態を調べると『重度のSAS』であることが判明。「SASで睡眠状態に陥ることは予見できなかった」との被告側の主張に、裁判長は「睡眠時無呼吸症候群が影響したことは否定できない」として、主張の一部を認める判決が言い渡されました。このように事故が起きてから「実はSASだ」と判明する例は少なくありません。事前にSASスクリーニング検査を実施していれば…と後で悔やんでも解決にはなりません。SAS対策の重要性を、ドライバーも事業者も改めて認識しましょう。

SASに関連する症状を知っておこう!

- 夜間の症状…睡眠中に呼吸が止まる/大きないびき/頻繁に目覚め、トイレに立つ/不眠
- 昼間の症状…熟睡感がない/朝の頭痛/日中の強い眠気/集中力の低下
- 他の症状 …勃起機能不全(ED)
- 身体的特徴…肥満

Check



全日本トラック協会のホームページでSASや助成制度について解説しています。
<http://www.jta.or.jp>
詳しくは、所属されているトラック協会に問い合わせてみましょう。

TOPICS いまやSAS 事業者だけの



谷川 武氏

愛媛大学大学院医学系研究科
公衆衛生・健康医学分野教授

ドライバーの自覚症状がないからこそ危険。
事業主は、SAS 対策を行い未然に事故防止を！

「走行中に気がつくと目的地についていることがあった」「高速道路で運転中、気がついたら出口で側壁に衝突していた」「運転中に居眠りが頻繁にあり、最近10年間に5回追突事故を起こした」「居眠り運転は1年間に12回位あり、運転中に居眠りして気がついたら赤信号で停まっている前の車の後部に追突した」…。

以上の事例は、SASの専門医療機関を受診した患者さんを対象に、治療前に遭遇した運転中の交通事故やヒヤリ・ハットについてアンケートを行った一部です。事故前の様子を見ると「気がついたら」「ガクッと」「ふっと」という記載が多く、予兆なく居眠りに至ったケースが多いことがわかります。SASは、睡眠中の呼吸停止により、睡眠が分断されるため、睡眠の質が低下し、そのために日中の眠気や集中力の低下が引き起こされます。

問題なのは『この原因をSASという病気だと本人が自覚していないこと』です。実際に上記の回答者の中には、これだけの状況でもまだSASだと自覚していない方がいます(p18の「眠気と自覚等と睡眠呼吸障害の有病率との関係」を参照)。これを聞いて事業者のみなさまはゾッとされているのではないのでしょうか。コーヒーやタバコの過剰摂取により、本人はもちろん周囲もSASの症状がわかりにくいということや、「眠気の自覚症状」があっても、それを慢性疲労と思っている場合があります。つまり、SASスクリーニング検査を受診されていない会社では、SAS患者が潜在する可能性が高いということがいえます。

いま国内のSAS推定患者数は、数百万人規模と言われています。しかし、現在治療中の患者数は13万人程度であり、標準的な治療法である持続陽圧呼吸法が確立され『SASは治せる病気』となっているにも関わらず、治療を受ける人が非常に少ないのが現状です。前述の事例のような事故に対し、『居眠り運転』という過失のみが前面に出されていますが、SASスクリーニング検査を実施し、治療を行えば、未然に防げる事故も増えていくはずです。事業者のみなさまは、ドライバーの健康状態をいま一度見つめ直していただきたいと思います。

はドライバー個人や 問題ではありません!

SAS を放置すれば老後にツケがまわる！
治療を行えば、頭も体もスッキリ

職業ドライバーにとって、SAS対策は交通事故の防止と、ドライバー個人の健康を向上する面があります。

寝ている間に無呼吸が起こると、体の中の酸素が富士山の頂上に登ったのと同じくらい下がります。重症のSASでは一晩に500回以上、富士山に登ったり降りたりを繰り返していることになります。これでは、心臓に負担がかかって、体が持ちませんね。さらに、自分の体が無意識に「これではいけない！」と息を吹き返すために、睡眠が浅くなります。このため、日中の眠気が強くなり、睡眠中の代謝機能(糖や脂肪などを分解)も落ちます。しかし、寝ている間のことなので、自覚に乏しいことが問題なのは谷川先生が言われているとおりです。

SAS治療のスタンダードとなっているCPAP(持続的陽圧呼吸療法)を開始すれば、早い場合は翌日から眠気がとれることがあります。「睡眠はとっているはずなのに、疲れが残っている。」「若い頃と比べると疲れやすくなった。」「肩こりがとれない」「夜中にトイレに2回以上行く」などのSASの症状も治療によってとれてきます。治療を行って振り返ってみて、自分のSASの症状に初めて気づくことも多いようです。このため、CPAPを受け入れる方は90%以上に上ります。

最近の研究では、重症のSASを放置している場合は、10年間で30%に狭心症や心筋梗塞などの病気が起こるのに対して、CPAPを使用している方々はその危険性がSASのない方々と同じレベルになることが報告されています。CPAPを使用した方々では、無呼吸がとれ、心臓や血管への負担がとれることになります。重症の場合は突然死のリスクが高くなりますが、軽症～中等症のSASでも放置しておく、心臓や血管に負担が毎晩起き、心筋梗塞、脳梗塞のリスクが高くなります。そうすれば、若い頃に不摂生をしたツケが老後に回ってくるようになります。

これまで、体がだるく運動もせずに、気がつけば体重が増えていたという方も、CPAPを開始して、頭をスッキリさせ、ダイエットや運動といった健康的な生活にシフトチェンジしましょう。

SASの診断・治療への第一歩は、スクリーニング検査からです。



津田 徹氏

霧ヶ丘つだ病院 院長(北九州市)

まずは、事前に所属している トラック協会に確認を取りましょう。

Q.1

SAS対策として、
まず何をはじめたら良いですか？

A.1

「SASスクリーニング検査」に取り組みましょう。
検査や助成制度の申込み方法など、地元の
トラック協会にお問い合わせください。

SASの早期発見・早期治療が重要であることはご理解いただけたいと思います。そのために、まずみなさまに実施いただきたいのが、従業員がSASなのかを簡単に調べられる「SASスクリーニング検査」です。この検査で、SASであるかを確定診断するための精密検査の必要性を判断します。全日本トラック協会では「検査費用の半額までを助成」できる制度を設けています。申込みの詳細、助成の対象となるかなどを、事業者が所属されている「地元のトラック協会」にお問い合わせください。

助成制度の内容は…

Check

- 本制度を利用し、全日本トラック協会が認めている検査機関で検査をすると「検査費用の半額(上限2,500円/人)が助成」されます。

助成制度が適用される 資格・要件などは…

Check

- 資格・要件…助成対象は、都道府県トラック協会の会員事業者には雇用されている運転者など。
- 助成対象 …SASスクリーニング検査のうち、健康保険適用外である以下のものとします。
 - ・第1次検査:簡易アンケートによるチェック、解析、判定
 - ・第2次検査:フローセンサー、パルスオキシメーターなどによる簡易スクリーニング検査
- 助成金額 …全日本トラック協会の助成金額は以下になります。
 - ・第1次検査費用の半額(上限 500円/人)
 - ・第2次検査費用の半額(上限2,000円/人)

社内SAS対策プロジェクト物語 「助成制度で検査に申込みよう!」の巻



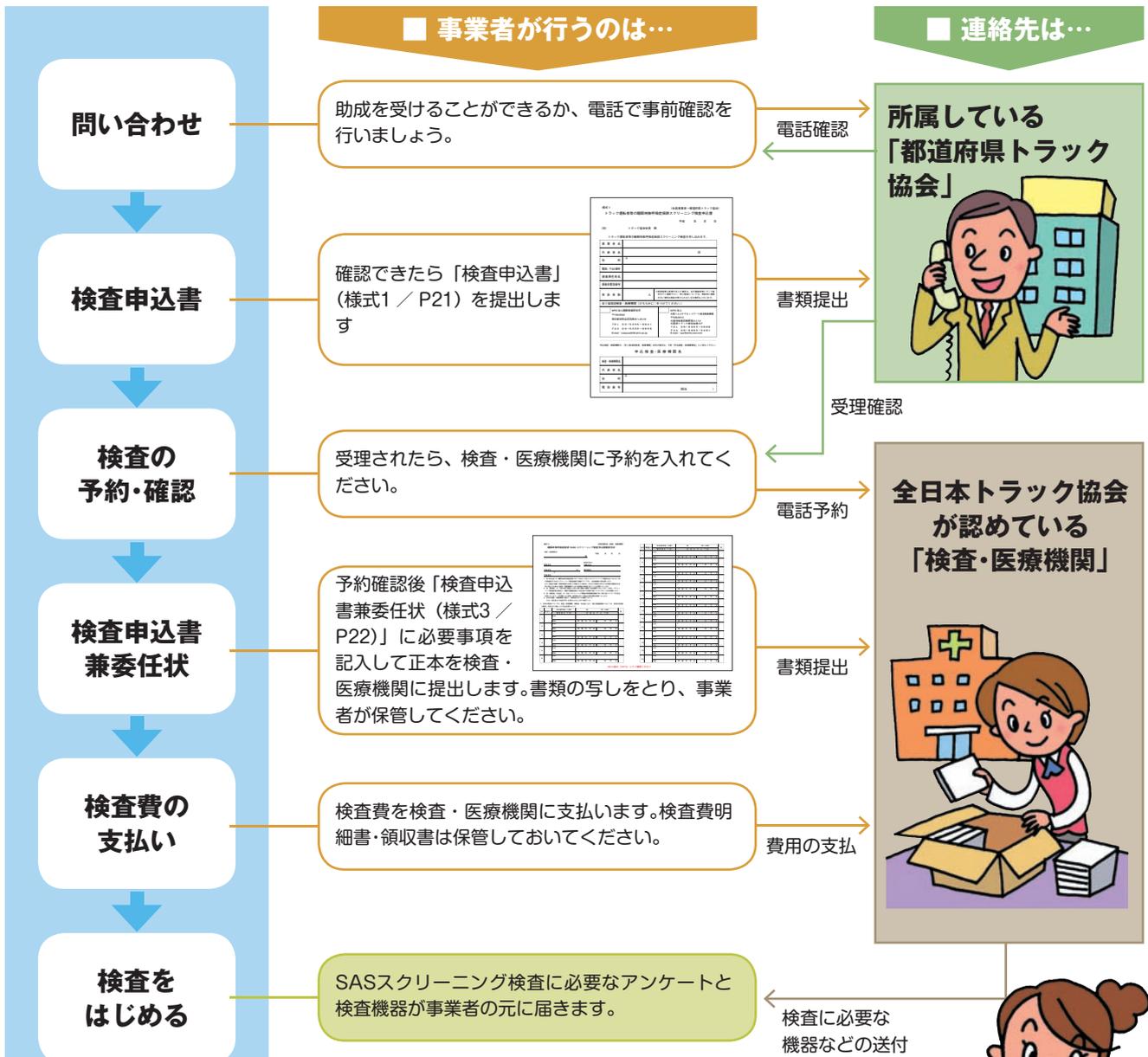
Q.2

検査の申込みは？
検査費の支払は？
どこに何を提出すれば良いですか？

A.2

事前確認と検査の申込書提出は、
地元の都道府県トラック協会に。
検査の予約などは指定の検査・
医療機関です。

問い合わせから検査までの流れは…



※都道府県トラック協会の各問い合わせ先は、裏表紙をご覧ください。

※各種書類の書き方は、p20にて解説しています。

また、p21～23の書類をコピーしてご使用いただけます。

簡単な検査機器を使って 自宅でチェックできます。

Q.1

SASスクリーニング検査って何をするの？

A.1

簡易アンケートによる第1次検査。
機器を使う第2次検査の2つです。

SASスクリーニング検査では、「簡易アンケートによる第1次検査」と「機器を使った簡単な第2次検査」を行います。全日本トラック協会の指定する検査・医療機関に検査費を支払うと、必要な機器などが宅配便で事業者の元に届きます。アンケートは、専門医が作成したもので、日頃の生活習慣などについての簡単な質問になっています。第2次検査は、「フローセンサ法」と「パルスオキシメトリ法」のいずれかを専用の機器で行います。検査・治療機関により、採用している検査法が違っているため、2つのどちらかの機器が事業者の元に届けられます。

※NPO法人睡眠健康研究所の場合は1次・2次検査が同時に行われます。

Check

一度検査すれば、
毎年、行わなくても大丈夫です。

SASスクリーニング検査は、極端な体重の増減がない限り、3～5年間に1度実施すれば大丈夫です。もちろん、新しく採用された方には、1度検査を受けるように指導してください。事故撲滅のため、また従業員の健康・安全を守るために大切な労務管理のひとつとして、SASスクリーニング検査を徹底してください。



Q.2

機器の使い方は難しい？
どこで検査するの？

A.2

自宅で普段通りの生活を行いながら
どなたでも簡単に検査できます。

「フローセンサ法」と「パルスオキシメトリ法」のいずれも、操作は簡単です。病院などで検査するのではなく、機器を自宅に持ち帰り、普段通りの生活を行いながら検査ができます。アンケート用紙と検査機器は、検査が終わり次第、検査・医療機関に返却することになります。それぞれの検査内容や使い方などは、右の説明をご覧ください。

Check

検査をはじめる前に、
ドライバーの不安を取り除きましょう。

ドライバーの中には「もしもSASと診断されたら、仕事なくなるのでは」「運転ができなくなるのでは」「収入が極端に減るのでは」といった不安を抱えている方もいます。こうした誤解が、SAS対策の大きな障壁となっています。

ある企業で、昼間の眠気度をチェックするESSの質問票などで検査を行ったとき、『SASの疑いがあり』とされたのは、全体のわずか0.5%という不自然な結果が出たといいます。「SASと診断されたら、乗務できなくなるのでは」と誤解した方もいると思われます。

事業者は、『SASだからといって従業員を差別したり、不平等な扱いはできない』ということ。そして、何よりも『SASは治せる病気であり、従業員の健康と安全を守るために、適切な検査と治療を行いたい』という気持ちを浸透させてください。本誌や全日本トラック協会のホームページなどをよく読み、従業員の同意の元で検査を実施しましょう。

●フローセンサ法とは…



睡眠中の
気流状態を
チェック!

- 睡眠前に鼻と口先にセンサを装着します。
- 腕には測定器を付けます。
- 鼻と口先に付けたセンサによって、睡眠中の気流状態をモニタリングします。
- これにより、睡眠中の無呼吸や低呼吸の程度を客観的に検査できます。

●パルスオキシメトリ法とは…



睡眠時の
血中の酸素量を
チェック!

- 睡眠前に手首と指先に機器を装着します。
- これで眠っている間の酸素の血中濃度(酸素飽和度)を測定します。
- 睡眠中の動脈血の酸素量をモニタリングします。
- 睡眠中の無呼吸や低呼吸に伴う酸素量の低下回数から、呼吸障害の程度を客観的に把握できます。

[さらに詳しく知りたい方は…]

全日本トラック協会指定の検査・治療機関のホームページを参考にしてください。

NPO法人 睡眠健康研究所 <http://sleep.umin.jp>

睡眠健康研究所 検索

NPO法人 大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構
<http://sas.ochis-net.jp>

大阪ヘルスケアネットワーク SAS 検索

社内SAS対策プロジェクト物語 「検査は、自宅で普段のままで!」の巻



SASスクリーニング検査が終了したら助成金の申請を!

Q.1

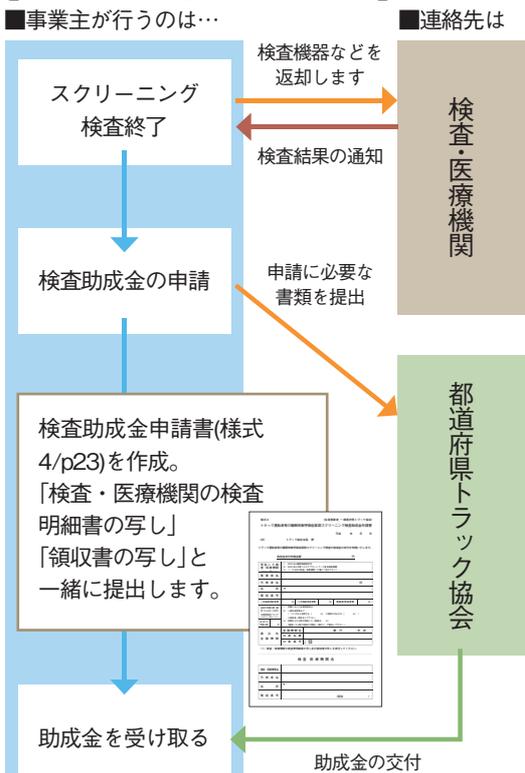
助成金は、いつもらえるの?

A.1

SASスクリーニング検査が終わったら申請書類を提出。
助成金が交付されます。

SASスクリーニング検査が終了すれば、検査費助成金の申請です。「検査助成金申請書」を都道府県トラック協会に提出しましょう。提出する際には、「検査・医療機関の検査費用明細書の写し」と「領収書の写し」を必ず忘れずに付けてください。この書類手続きが終わって、はじめて助成金が交付されます。

[助成金交付までの流れ]



▲「検査助成金申請書」の書き方はp20を参照ください。p23の書類をコピーしてご利用ください。

社内SAS対策プロジェクト物語

「精密検査が必要だったのは?」の巻



精密検査は

精密検査が必要と診断された方だけの受診です。

※精密検査が受診できる医療機関は全日本トラック協会HPを参考にしてください。
http://www.jta.or.jp/rodotaisaku/Sas/iryu_list.html

Q.1

精密検査の助成制度はないのでしょうか？

A.1

精密検査には健康保険が適用されます。

検査に使った機器やアンケート結果を検査・医療機関に返却してから、数週間で検査の結果が届きます。「この結果で、SASの確定診断のための精密検査が必要とされた方のみ」精密検査を受けることになります。精密検査には助成制度がありませんが、「健康保険が適用」されます。精密検査は、お近くのSAS検査医療機関で行います。

Q.2

精密検査は、何日もかかるの？その内容は？

A.2

1泊入院して、「PSG検査」を行います。

精密検査では、検査医療機関に1泊すると考えてください。まず専門医が外来診察を行った上で、PSG検査を行います。PSG (poly somno graphy) とは、終夜睡眠ポリグラフ検査と呼ばれるもので、簡単にいえば、「睡眠中の呼吸と脳波などを記録して、睡眠障害の有無と、SASか否かを確定診断する検査」です。一晩で簡単に終わる検査です。しっかりと検査を受けて、今後、適切な治療を行えるようにしましょう。

※医療機関によっては検査日数が異なる場合がありますので事前にご確認ください。

●SASの程度をきちんと調べ適切な治療でSASを治しましょう！

脳波や心電図、口や鼻からの気流、胸部・腹部の動き、動脈血の酸素量、体位センサー、いびき判定マイクなどを体に取り付け、寝ている間の呼吸の状態などを調べます。多少窮屈な感じもありますが、苦痛を伴うものではありませんので、安心して検査に臨んでください。こうしてさまざまなデータを記録し、「総合的に解析するのがPSG検査」です。SASと診断された場合は、その重症度を判定し、さまざまな治療法の中から、最適な治療法を選択して行きます。

PSG検査で、安心への第一歩を



○装着しているものは…



顎筋筋電図 (EMG)

脳波 (EEG)

眼球運動 (EOG)

動脈血酸素飽和度

呼吸センサー

体位センサー

胸部バンド

腹部バンド

適切な治療法の診断を受け 仕事に支障なくSASを改善できます。

Q.1

治療は大変？
仕事に支障が生まれませんか？

A.1

ご安心ください。
基本的に普段通りに
働きながら治療を行えます。

治療にはいろいろな方法がありますが、基本的に毎日病院に通うのではなく、普段通りに働きながら自宅などで治療することができますので、安心です。ただし、自宅で治療している途中で、もう治ったかもしれないと勝手な個人の判断で止めてしまうのは良くありません。効果的に正しく治療を行うためにも、月に1度の外来受診などをきちんと受診してください。

Q.2

どういった治療法がありますか？

A.2

代表的な治療法は
CPAP（シーパップ）、他にも
マウスピースなどがあります。

SASには、さまざまな治療法が開発されていますが、どの治療法も基本的に「気道の空気の通りを良くすることで、睡眠中の呼吸停止を防ぐ」ことが目的とされています。その中で最も効果的な方法として普及しているのが、「CPAP(シーパップ/経鼻持続陽圧呼吸治療法)」です。これは、中等度～重度のSAS患者さんにも用いられるもので、軽度の患者さんには、下顎を前方に固定する「マウスピース」などが有効とされています。外科手術を必要とされる場合もあります

社内SAS対策プロジェクト物語 「SASスクリーニング検査で、 みんながスマイル!」の巻



● CPAP (シーパップ)とは…



睡眠時にCPAPという鼻マスクを装着。自宅で快適に、継続的に治療できます。

CPAPは、空気の圧力を利用して気道を押し広げることで無呼吸を防いでくれる治療法です。各人の症状や顔の形やサイズに合わせてフィッティングしてもらった鼻マスクを毎日眠る際に装着します。こう聞くとそんなものを付けて眠れるのかと思われるかも知れませんが、すぐに慣れるのでご安心ください。装着したその日から、症状が改善され、すっきりとした目覚めが体験できます。小型で持ち運びも簡単ですから、長距離運行でも手軽に活用できます。

● マウスピースとは…



自分専用のマウスピースを作り睡眠時に装着。使い方も、持ち運びもより便利な治療法です。

比べて使い方が簡単で持ち運びも便利です。ただし、高齢者で歯が少ない方、歯がぐらついている方、あごの関節に痛みや障害がある方、鼻アレルギーで鼻づまりのある方などは適していません。専門医や歯科医師と相談の上で、治療に取り組みましょう。

★ CPAPで事故率低下!

CPAPにより良質の睡眠を得ることで、昼間の眠気から解放され、仕事にも集中できるようになります。その結果、CPAP治療前に25.8%だった事故率が治療後には2.3%に。また14.3%だったニアミスが、わずか1.7%に減ったという調査データがあります。他にもCPAPによる深い眠りで成長ホルモンの分泌が活発になり、内臓脂肪が減少し、体重も減ったなどの報告も多数挙がっています。

「意外とこわい睡眠時無呼吸症候群(p113より)」 成井浩司著 講談社+α新書

中等度・軽度の診断を受けた方には、マウスピースもあります。マウスピースは、口の中に装着するだけの手軽な治療法です。CPAPに比べて使い方が簡単で持ち運びも便利です。ただし、高齢者で歯が少ない方、歯がぐらついている方、あごの関節に痛みや障害がある方、鼻アレルギーで鼻づまりのある方などは適していません。専門医や歯科医師と相談の上で、治療に取り組みましょう。



みなさんも労務管理の一環として、ぜひSASスクリーニング検査を実施してくださいね!

実際に助成制度を活用した 事業主、ドライバーの声を参考に。



江川 徹さん

岡山水急大阪株式会社
ドライバー

起床時に疲れが取れないと感じることが時々あり、3年前頃からは毎日の様に睡眠不足の状態が続いていました。職場の健康診断時、病院待合室でSASの張り紙を見て、症状について相談。簡易検査（スクリーニング検査）、1泊の入院精密検査で、「重症」と診断され、さらにCPAP「圧」を調整のために、後日もう一泊入院。治療開始までに計2泊入院することに。1泊3万円の負担もそうですが、入院時病院に午後8時までに出向くために、仕事の段取りをするのが大変でした。私は地元の病院で簡易検査を申し込みましたが、今は全ト協指定の検査機関に申し込むと宅配で機器が届き自宅で簡単にでき、とても便利になったと思います。現在は月に1回通院しています。メモリーカードのデータを持参し経過を確認してもらい、また機器使用に伴う問題なども、その都度医師に相談しています。鼻炎を発症した時は薬が処方されたり、最近は加湿器を装着することで改善しました。CPAPは基本的には毎日装着することが望ましいのですが、仕事の関係で2日に1回の装着を目標にしています。深夜の仕事の場合、短時間装着だけでも効果的で、運行中の少しの仮眠でも体調の回復が以前より早くなったと感じています。

今後、さらに減量など健康管理にも気をつけ、無事故を誓いながら仕事をがんばります。



加納 実さん

センコー株式会社
京滋東支店岐阜営業所
ドライバー

平成16年の全社労使安全衛生委員会でSASへの取り組みが決定され、会社の指示で検査を行いました。社内ではSASと診断された場合、CPAPの継続治療することが乗務の条件でした。

私は、高血圧で夜間のトイレ回数も多く昼間の眠気もありました。簡易検査後精密検査を受けた診断はSASでした。ドライバー業務を外されるという不安な思いで一杯でしたが、医療機関からはCPAPを使用すると「業務から外されない」と説明があり大変安心しました。

治療を始めて1年以上になりますが、血圧は下がり、眠りが深くなり夢も見ず、夜間のトイレにも起きず平均7時間眠っています。また、体重も減り身体が軽く動きやすくなるなど、劇的に良い方向へ変わりました。

会社はSASの簡易検査をドライバーだけでなく従業員全員にも取り組み、費用負担をいただいています。また、一泊入院の精密検査の半額負担もいただいているので、費用面でも助かっています。

現在治療を迷っている方に、お伝えしたいこと。それは治療せずにそのままドライバー業務を継続していくと会社・個人として取り返しのつかない交通事故や労働災害事故の加害者になる危険が十分あります。早期にCPAPの治療を始めてください。治療してよかったときっと感じますよ。



山田勝男さん

梅田運輸倉庫株式会社
白州営業所
長距離ドライバー

睡眠時無呼吸検査は、会社からドライバー全員に簡易検査を行う指示がありました。自分では自覚症状はありませんでしたが、家族からイビキや息が止まっている等、言われていたので素直に検査を受けました。

結果は要精密検査でした。自分自身のため精密検査への不安もなく検査を受け、診断結果はやはりSASでした。

治療先の病院は、呼吸専門医で対応も良く、SASという病気や治療について説明を受け良く理解できました。治療は2年3ヵ月になりますがCPAPだけではなく、管理栄養士による栄養指導を受け5キロ減量しました。リバウンドもなくダイエット継続中です。また主治医に眠りにくいことを相談し、睡眠導入剤を服用してから平均7時間ぐっすり眠れて、昼間の眠気がなくなりました。

現在は医師の転勤で内科医に診てもらっています。最近予約が取りにくく、当方も予約しても仕事が忙しくキャンセルすることがありますので、毎月の受診は難しくなっています。

治療にも慣れたせい治療は短時間の診療ですので、毎月の治療費がもう少し安ければ助かります……。

日本通運(株) 旭川支店の 取り組み

当社のSAS対策は、当初「眠気の間診票」でドライバーを対象に実施してきましたが、その重要性が高まる中、昨年度から事務員を含め全社員を対象にしたSASスクリーニング検査を開始しました。具体的にはソムニーという検査機器を使った検査で、当支店では335人が受検しました。検査の結果、精密検査が必要な人には専門医を紹介し、特に受診しづらいドライバーについては仕事の調整を行うなど精密検査を受けやすい環境づくりに取り組んでいます。

今後、支店におけるSAS管理体制としては、5歳きざみの年齢時に、機器を利用したスクリーニング検査を実施することとし、それ以外の年齢、またD判定者・E判定者など経過観察が必要な人については保健指導員による個別指導を行っていく予定であります。

昨年度の検査で重度のSASと診断された者からは、「初めてCPAPを着けて寝る時は抵抗があり、効果についても半信半疑だったが、その晩から寝汗はすっかり無くなり、寝起きも大変すっきりした」との話を聞いてますし、その半年後の入院検査では、1時間当たりの無呼吸は2回までに減少、かなり質の高い睡眠がとれて、仕事に対しても良い影響を与えているとのことでした。

SAS対策は早期発見、そして専門医への相談が有効だということを改めて認識し、今後も取り組みを継続していきたいと考えております。

もっと!

詳しく知りたい! SASのこと、助成制度のこと

Check

**SASの症状が
重いほど
事故発生率は
上がります。**

虎の門病院の睡眠センター センター長の成井浩司先生の著書を紐解くと、興味深いお話が掲載されています。そこでは、重度のSAS患者は、「短期間に複数回の事故を引き起こしやすい」と書かれています。また、SASの症状別に、過去5年間の事故発生率を調査したデータがあり、それを見ると、一般の事故発生率が、5.5%に対し、睡眠1時間当たりの平均無呼吸・低呼吸回数が5～15回では7.3%に数値が上がります。さらに、平均無呼吸・低呼吸回数が60回を超える重度の方は、「なんと25.6%と、一般の約5倍」にもなっています。

▶参考:「意外とこわい睡眠時無呼吸症候群」成井浩司著 講談社+α新書

Check

**SASの
自己判断は難しい。
検査・医療機関で
必ず検査を!**

事故撲滅のために、国土交通省よりSAS対策へのマニュアルや「昼間の眠気度をチェックするESS」の質問票などが業界に配布されました。しかし「ESSでの自己評価は問題なかったにもかかわらず、PSG検査では陽性となった方が意外と多い」という報告が、検査・医療機関より挙がっています。周りから「ちょっといびきがうるさい、そういえば睡眠時に呼吸が止まっているかも」といわれた程度では、自分がSASという危険な病気だとはあまり疑わないものです。やはり専門の検査・医療機関による正しい検査・診断がぜひとも必要だと考えてください。

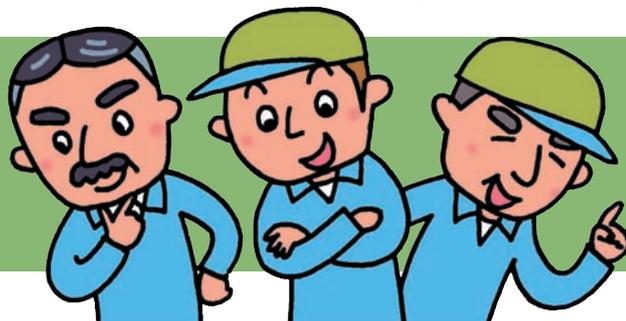
眠気と自覚等と睡眠呼吸障害の有病率との関係

平成18年、筑波大学においてトラックドライバー 5,247人を対象に「眠気と睡眠呼吸障害との関係」を調査した結果です。「日中に強い眠気を感じる」と答えた人ほど重度の睡眠呼吸障害を有する者の割合が高くなりました。しかし、「眠気を感じない」と答えた人の中からも、中等～重度の睡眠呼吸障害を有する者が多数いることが判明しました。

		睡眠呼吸障害				計
		正常範囲 (RDI 5未満)	軽度 (RDI 5～19.9)	中等度 (RDI 20～39.9)	重度 (RDI 40以上)	
弱 ↑ 眠気 の 自覚 ↓ 強	ESS 0～5	1,457 (47%)	1,391 (45%)	201 (7%)	46 (1%)	3,095 (100%)
	ESS 6～10	774 (46%)	725 (43%)	138 (8%)	52 (3%)	1,689 (100%)
	ESS 11～15	142 (39%)	170 (46%)	34 (9%)	23 (6%)	369 (100%)
	ESS 16以上	37 (39%)	44 (47%)	5 (5%)	8 (9%)	94 (100%)
計		2,410 (46%)	2,330 (44%)	378 (7%)	129 (3%)	5,247 (100%)

※出展/谷川 武、磯 博康:「職業運転手の睡眠呼吸障害スクリーニングによる事故撲滅防止システムの構築」平成8年科学研究費補助金(文部科学省)報告書
※ESSは「Epworthの眠気テスト(Epworth Sleepiness Scale)」の略。
日中の眠気度を調べるための自己診断テストです。
※RDIは「呼吸障害指数:Respiratory Disturbance Index」の略。
記録1時間当たりの無呼吸と低呼吸の数の和をいいます。





Check

都道府県トラック協会には独自の助成制度もあります。

SASは、重大事故にもつながる危険な病気です。しかし、治療できる、治せる病気でもあります。全日本トラック協会は、全国の事業者へSASスクリーニング検査を実施していただけるように助成制度を設けています。さらに、都道府県のトラック協会も、全日本トラック協会とは別に助成を行っている場合があります。SASスクリーニング検査について最寄りの都道府県トラック協会に問い合わせる場合、助成制度についてより詳しく確認してください。

Check

トラック協会主催のセミナーにぜひご参加を

全日本トラック協会では、SASへの意識向上、SASスクリーニング検査実施を無理なく実施いただくための助成制度のご説明を行うセミナーなどを開催しています。



Check

SASについて

●ドライバーには…

平成13年の道路交通法改正により、「十分な睡眠をとっているにもかかわらず、日中、活動している最中に眠り込んでしまうことが週3回以上ある方」は自己申告が必要になりました。また、「重度の眠気の症状を呈する睡眠障害」など安全な運転に支障を及ぼすおそれがある方の場合には免許が取得できない場合もあります。

[○免許の欠格事由、拒否等(道路交通法第88条、第90条第1項及び第103条第1項並びに道路交通法施行令第33条の2の3及び第38条の2関係)、○免許申請時及び更新申請時の症状等の申告(道路交通法施行規則第17条、第29条及び第29条の2関係)]

道路交通法

●事業者に対しては…

[国自総第531号 平成15年3月18日]

[国自総第83号 平成19年6月1日]

労働者がSASと診断されたにもかかわらず、十分な治療を受けることなく、勤務中に事故を起こした場合は、雇用者側の管理監督責任を問われる場合もあります。また、事業者の責任として、SASと診断されたドライバーを突然乗務から外すなどの差別的な扱いをすることなく、SASの検査や治療に安心してドライバーが臨めるように配慮しましょう。

国土交通省通達

SAS 検査助成制度に必要な書類の書き方は…

以下の記入例を参考に、申し込みされる月日、御社名、住所、電話番号、責任者のお名前など、必要事項をご記入ください。

なお、各書類は、次頁より掲載された書類をコピーしてご使用ください。全日本トラック協会のホームページよりダウンロードもできます。

●「検査申込書」の記入例

所属されている都道府県トラック協会の名前をご記入ください。

様式1 (会員事業者→都道府県トラック協会)
トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査申込書

平成 年 月 日

(社) ○○○○ 県トラック協会会長 殿

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査を申し込みます。

事業名	○○○運輸株式会社
代表者名	運輸 太郎 印
住所	〒○○○-×××× ○○○○市○○○区○○○
電話・FAX番号	TEL:○○○-○○○-○○○ FAX:○○○-○○○-○○○
連絡責任者名	運輸 次郎
連絡先電話番号	○○○-○○○-○○○
受診者数	<input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人

※受診者数に変更が生じた場合は、必ず都道府県トラック協会までご連絡ください。特に増減については、発着前・着席がない場合は返金が受けられない場合があります。

全ト協指定検査・医療機関 (どちらかに○をつけてください。)

<input type="radio"/> NPO 法人睡眠健康研究所 〒156-0042 東京都港区赤坂区南赤坂1-25-16 TEL: 03-5355-9941 FAX: 03-5355-9956 E-mail: sleep-admin@nsh.ac.jp	<input type="radio"/> NPO 法人 大阪ヘルスネットワーク普及推進機構 〒520-0014 大阪府堺区中津島2-11-2 大阪府庁7階会議室2112 TEL: 06-9955-5666 FAX: 06-9955-2661 E-mail: sas@ochi-nsh.com
---	---

申込検査・医療機関が、「全ト協指定検査・医療機関」以外の場合は、下記「申込検査・医療機関名」に記入ください。

申込検査・医療機関名	
検査・医療機関名	
代表者名	
住所	
電話番号	(担当)

※NPO 法人睡眠健康研究所以外に申し込みの場合のみ記入して下さい。

記入例を参考に必要事項をもらさずご記入ください。

NPO 法人睡眠健康研究所以外に申し込みされる場合のみ、ご記入ください。

●「検査申込書兼委任状」の記入例

SAS スクリーニング検査を申し込みされる検査・医療機関名をご記入ください。

様式3 (会員事業者→検査・医療機関)
睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査申込書兼委任状

平成 年 月 日

NPO 法人睡眠健康研究所または○○○病院にて 願

事業名	○○○運輸株式会社	代表者名	運輸 太郎	職務	部長
代表者名	運輸 太郎	印		電話番号	○○○-○○○-○○○
住所	〒○○○-×××× ○○○○市○○○区○○○				

1. 私(申込者)は、睡眠時無呼吸症候群(以下「SAS」と言ふ)のスクリーニング検査申込にかかわる一時的な事務及び「SAS」スクリーニング検査結果の受領については、上記事業主に委任致します。
また、検査の結果、「治療が必要か否か」を判断される場合は、「SAS」予防医と選ばれる検査医の指示に従って治療する事から検査・医療機関ならびに事業者の健康に役立つことをお願いいたします。

2. 私(事業者)は、下記の検査から得た個人情報の保護に充分配慮するとともに、「SAS」スクリーニング検査結果を適切に、検査の受領後ならびに個人情報の取扱いを行うことと承諾いたします。

3. 私(事業者)は、申込書に「SAS」スクリーニング検査は医療機関で実施する旨について充分説明いたします。不同意により検査・医療機関が同意を拒否する場合があります。

4. 正事は検査・医療機関に提出し、事業者は写しを保管すること。
なお、申込書より本状の写しを求められたときははすはすに提出すること。

※ 本表の取扱いについては、検査・医療機関、事業者、申込者ともに、個人情報保護法にもとづき、目的外利用及び開示、滅失などの取扱いを充分注意すること。

NO	機軸NO	申込者氏名(上段)	住所(上段)	印
		電話番号(下段)	同 意 年 月 日(下段)	
1		氏名 運輸 太郎 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	
2		氏名 運輸 次郎 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	
3		氏名 ○○ ○○ 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	
4		氏名 ○○ ○○ 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	
5		氏名 ○○ ○○ 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	
6		氏名 ○○ ○○ 電話 ○○○-○○○-○○○	同 意 年 月 日 ()年()月()日	

※様式3は切り離さずA3判で提出して下さい。

記入例を参考に必要事項をもらさずご記入ください。

検査を申し込みされるすべての方のお名前、住所、同意年月日をご記入ください。

※注意)
p22の「検査申込書兼委任状」を『A3版に拡大コピー』してご使用ください。
人数が6名以下でも、切り離さずに『A3版で』提出ください。

●「検査助成金申請書」の記入例

所属されている都道府県トラック協会の名前をご記入ください。

受診された検査・医療機関名をご記入ください。

様式4 (会員事業者→都道府県トラック協会)
トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成金申請書

平成 年 月 日

(社) ○○○○ 県トラック協会会長 殿

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の助成金の交付を申請いたします。

助成金交付申請金額 **20,000 円**

受診した検査・医療機関	○NPO 法人睡眠健康研究所 2. NPO 法人ヘルスネットワーク普及推進機構 3. 1. 2以外の検査・医療機関(行名に記入下さい)
事業名	○○○運輸株式会社
代表者名	運輸 太郎 印
住所	〒○○○-×××× ○○○○市○○○区○○○
電話番号	○○○-○○○-○○○
一次検査受診者数	<input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人
二次検査受診者数	<input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人 <input type="radio"/> 人

※申請人数(様式3)に必ずしも一致するものではありません(※)。

1. 申請日より全乗務員検査済み
2. 一回受診済みあり
3. 申請日より検査中止する(A)
4. 検査結果、請求して下さい。

※申請上の人数が超過した(超過分) A) 超過した人数分の検査費用を「別紙」で提出して下さい。

検査 医療機関名	
検査・医療機関名	○○○ 銀行 ○○○ 支店
代表者名	
住所	
電話番号	(担当)

※NPO 法人睡眠健康研究所以外に申し込みの場合のみ記入して下さい。

申請する総額をご記入ください。

記入例を参考に必要事項をもらさずご記入ください。

NPO 法人睡眠健康研究所以外に申し込みされる場合のみ、ご記入ください。

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査申込書

平成 年 月 日

(社) トラック協会会長 殿

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査を申し込みます。

事業者名			
代表者名	印		
住所	〒		
電話/FAX番号			
連絡責任者名			
連絡先電話番号			
受診者数	人	※受診者数に変更が生じた場合は、必ず都道府県トラック協会までご連絡下さい。特に増員については、受診前に連絡がない場合は助成が受けられなくなる場合がございます。	
全ト協指定検査・医療機関（どちらかに○をつけてください。）			
	NPO 法人睡眠健康研究所 〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-25-16 TEL 03-5355-9941 FAX 03-5355-9956 E-mail: sleep-adm@umin.ac.jp		NPO 法人 大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 2-11-2 大阪府トラック総合会館3F TEL 06-6965-3666 FAX 06-6965-5261 E-mail: sas@ochis-net.com

.....

申込検査・医療機関が、「全ト協指定検査・医療機関」以外の場合は、下記「申込検査・医療機関名」にご記入ください。

申込検査・医療機関名

検査・医療機関名			
代表者名			
住所	〒		
電話番号	(担当)		

様式3 (会員事業者→検査・医療機関)
睡眠時無呼吸症候群 (SAS) スクリーニング検査申込書兼委任状

(検査・医療機関名) _____ 平成 年 月 日
殿

事業者名 _____ (連絡責任者名)
役職氏名 _____

代表者名 _____ 印 _____ 電話番号 _____

住 所 _____

1. 私 (申込者) は、睡眠時無呼吸症候群 (以下「SAS」と言う) のスクリーニング検査申込にかかると一切の事務及び「SAS」スクリーニング検査結果の受領については、上記事業者者に委任致します。また、検査の結果、「精密検査が必要」と判断された場合は、「SAS」が原因と思われる労働災害事故を未然に防止する事から検査・医療機関ならびに事業者の指導に従うことを同意いたします。
2. 私 (事業者) は、下記の者の検査から得た個人情報保護に充分配慮するとともに、「SAS」スクリーニング検査結果を理由に、解雇や配置転換など申込者の不利益の無いようにすることを同意致します。
3. 私 (事業者、申込者) は、SAS スクリーニング機器は医療精密機械であり取り扱いについては充分注意いたします。不手際により破損、紛失等が生じた場合は相当額を賠償いたします。
4. 正本は検査・医療機関に提出し、事業者は写しを保管すること。
なお、申込者より本状の写しを求められたときには渡すこと。

※ 本状の取扱については、検査・医療機関、事業者、申込者ともに、個人情報保護法にもつき、目的外利用及び紛失、流失などの無いよう充分注意すること。

NO	機器NO	申込者氏名 (上段)		住 所 (上段)		印
		電話番号 (下段)	氏名	同意年月日 (下段)	同意年月日 (下段)	
1		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
2		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
3		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
4		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
5		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
6		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	

NO	機器NO	申込者氏名 (上段)		住 所 (上段)		印
		電話番号 (下段)	氏名	同意年月日 (下段)	同意年月日 (下段)	
7		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
8		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
9		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
10		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
11		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
12		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
13		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
14		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
15		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
16		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
17		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
18		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
19		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	
20		電話番号	氏名	同意年月日	同意年月日	

様式 4

(会員事業者 → 都道府県トラック協会)

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成金申請書

平成 年 月 日

(社) トラック協会会長 殿

トラック運転者等の睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の助成金の交付を申請いたします。

助成金交付申請金額 円

受診した検査・医療機関 <small>いずれかを○で囲んで下さい。</small>	1. NPO 法人睡眠健康研究所 2. NPO 法人大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構 3. 1、2以外の検査・医療機関（下欄にご記入下さい）				
事業者名					
代表者名	印				
住所	〒				
電話番号					
一次検査受診者数	人	二次検査受診者数	人	再検査受診者数	人
当初の申請人数（様式1による）に対する受診状況について <small>いずれかを○で囲んで下さい。</small>	1. 申請どおりに全員受診済み 2. 一部未受診者あり （ ①これから受診する [人] ②受診は中止する [人] ） ※受診後、請求をして下さい。 3. 申請以上の人数が受診した [超過分 人] （超過した人数の追加の申請を〈様式1〉で提出して下さい。）				
当初の申請人数	人				
振込先 金融機関	金融機関名	銀行 支店			
	口座名義				
	口座番号	1. 普通 2. 当座			

(1) 検査・医療機関の検査費明細書の写し及び領収書の写しを添付してください。

検 査 医 療 機 関 名

検査・医療機関名	
代表者名	
住所	〒
電話番号	(担当)

SAS検査助成制度についての「お問い合わせ・ご質問は…」

社団法人全日本トラック協会 労働部へ

〒163-1519 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 19階
TEL.03-5323-7626 FAX.03-5323-7230
ホームページ <http://www.jta.or.jp>

全日本トラック協会 検索

SAS検査助成制度ご利用の際の「ご質問・事前確認・検査申込書などの提出は…」 ご所属されている都道府県トラック協会へ

●(社)北海道トラック協会	☎011-531-2215	●(社)滋賀県トラック協会	☎077-585-8080
●(社)青森県トラック協会	☎017-729-2000	●(社)京都府トラック協会	☎075-671-3175
●(社)岩手県トラック協会	☎019-637-2171	●(社)大阪府トラック協会	☎06-6965-4000
●(社)宮城県トラック協会	☎022-238-2721	●(社)兵庫県トラック協会	☎078-882-5556
●(社)秋田県トラック協会	☎018-863-5331	●(社)奈良県トラック協会	☎0743-23-1200
●(社)山形県トラック協会	☎023-633-2332	●(社)和歌山県トラック協会	☎073-422-6771
●(社)福島県トラック協会	☎024-558-7755	●(社)鳥取県トラック協会	☎0857-22-2694
●(社)茨城県トラック協会	☎029-243-1422	●(社)島根県トラック協会	☎0852-21-4272
●(社)栃木県トラック協会	☎028-658-2515	●(社)岡山県トラック協会	☎086-234-8211
●(社)群馬県トラック協会	☎027-261-0244	●(社)広島県トラック協会	☎082-264-1501
●(社)埼玉県トラック協会	☎048-645-2771	●(社)山口県トラック協会	☎083-922-0978
●(社)千葉県トラック協会	☎043-247-1131	●(社)徳島県トラック協会	☎088-632-8810
●(社)東京都トラック協会	☎03-3359-6251	●(社)香川県トラック協会	☎087-851-6381
●(社)神奈川県トラック協会	☎045-471-5511	●(社)愛媛県トラック協会	☎089-924-1069
●(社)山梨県トラック協会	☎055-262-5561	●(社)高知県トラック協会	☎088-832-3499
●(社)新潟県トラック協会	☎025-285-1717	●(社)福岡県トラック協会	☎092-451-7878
●(社)長野県トラック協会	☎026-254-5151	●(社)佐賀県トラック協会	☎0952-30-3456
●(社)富山県トラック協会	☎076-495-8800	●(社)長崎県トラック協会	☎095-838-2281
●(社)石川県トラック協会	☎076-239-2511	●(社)熊本県トラック協会	☎096-369-3968
●(社)福井県トラック協会	☎0776-34-1713	●(社)大分県トラック協会	☎097-558-6311
●(社)岐阜県トラック協会	☎058-279-3771	●(社)宮崎県トラック協会	☎0985-53-6767
●(社)静岡県トラック協会	☎054-283-1910	●(社)鹿児島県トラック協会	☎099-261-1167
●(社)愛知県トラック協会	☎052-871-1921	●(社)沖縄県トラック協会	☎098-863-0280
●(社)三重県トラック協会	☎059-227-6767		

「SAS検査に関するご質問などは」全日本トラック協会指定の検査機関へ

NPO法人 睡眠健康研究所

〒156-0042
東京都世田谷区羽根木1-25-16
(電話番号) 03-5355-9941
(FAX番号) 03-5355-9956
(E-mail) sleep-adm@umin.ac.jp
(URL) <http://sleep.umin.jp>

睡眠健康研究所

検索

NPO法人 大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構

〒536-0014
大阪府大阪市城東区鳴野西2丁目11番2号
大阪府トラック総合会館3階
(電話番号) 06-6965-3666
(FAX番号) 06-6965-5261
(E-mail) sas@ochis-net.com
(URL) <http://sas.ochis-net.jp>

大阪ヘルスケアネットワーク SAS 検索